



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
 電話 0774-22-3141(内線2058) FAX 20-8776
 Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp ホームページ <http://uifa.news.coocan.jp>

第 89 号
 令和3年(2021年)2月

『日本語支援ボランティア養成講座』を終えて

宇治市国際親善協会
 副会長 小永井 宏子

宇治市の国際交流も時代とともに変わり、今では世界中から学習や仕事を求めて日本に来てしばらく住むという外国人が増えてきています。宇治に在住の外国人は3千人を超えています。コロナ禍の中でも確実に増えていくことでしょう。それらの外国籍の住人の生活をより良いものにするために、日本語の勉強をボランティアで助けている日本語教室が宇治市に3か所あります。主に中国人を対象とする朋友館が大久保に、宇治国際交流クラブの日本語教室が黄檗の京都大学宇治キャンパスに、仕事などで昼間に学ぶことが出来ない方のための夜の日本語教室、スピークサロンが宇治市総合福祉会館にあります。宇治市国際親善協会は、それらの日本語教室を支援しています。



同時に日本語を指導するボランティア養成を目的とした「日本語支援ボランティア養成講座」を毎年開催してきました。毎年この講座で勉強された方は、日本語教室の指導スタッフとして活躍していただいております。今回も2020年10月24日(土)から12月12日(土)に開催いたしました。8回目となる講座ですが、20代から60代の20の方の方に受講をいただきました。

講座は、体験豊かな3人の日本語講師の方々に、日本語の文法や教え方などを教えていただくもので8回シリーズ一回一時間半の勉強です。受講者の皆様に、とても熱心に興味を持って学んでいただき、喜んでいただきました。日本語は日ごろ話している言語ですが、ここではどのように教えていくのか、どんな本や参考書があるのか、日本語文法の基本など習います。どんな国の方が勉強に来られるのか、今日本での外国人は何を希望されているのかなど全て新しい情報で受講者の皆様には刺激を受けていただいたようです。皆様は寒い中新型コロナウイルス感染症のため窓を開けた部屋で勉強されて大変だったのではと思っています。最後の日に宇治市国際親善協会会長の久保田勇氏から修了証書をお渡ししました。

さて、今回は3か所の日本語教室に加えて、宇治市国際親善協会日本語教室を立ち上げます。2021年1月の第三土曜日に始まります。この講座を修了された方々も一緒に加わってください。宇治市国際親善協会はこの講座を今後も続けて外国人の日本語の勉強を支援していく予定です。

講座を受けていただいた方へのアンケート結果より、外国の方の支援や交流に関心があって、ボランティア活動、日本語学習に興味を持って、などの動機で参加いただいたようです。日本語の特殊性を知った、よくまとまった講座だった、日本語を学ぶ人のニーズをきいてモチベーションがあがった、などのコメントも頂きました。今回8人の方が実際に活動を表明していただいています。この講座をきっかけに新しいことにチャレンジしていただきたく思います。

今後ともこの「日本語支援ボランティア養成講座」と「日本語教室」もご支援をお願いいたします。

楽しい「子ども英会話」教室

宇治市国際親善協会
理事 伊勢村 紀久子

今年の「楽しい子ども英会話」のレッスン参加者は、とてもラッキーでした。多分コロナ社会の中での外出の心配もあったのでしょうか、各クラス定員 10 名のところ、小学 3～4 年生のクラスは 6 名の参加、小学 5～6 年生のクラスは 4 名の参加でした。ちょっと寂しいレッスン風景でしたが、その分先生の目がみんなに行き届いていて、子どもたちの英語力の成長はめざましいものがありました。



今年の先生は、バルト三国の一つであるラトビア共和国出身のジェリギン・キリオ先生で、長身のイケメン男性でした。専門は言語学でアメリカ留学の経験があり英語の発音は素晴らしく、カードを通して単語を覚えたりお互いに質問をし合ったりと、子どもたちは立ったり座ったり緊張しながらも楽しんで英語を話していました。日本語とは違う英語の正しい発音のリピート練習をしたり、英語の絵本から抜粋した簡単な文章の文法の基礎を会話形式で学んだり、45 分のレッスン時間はあっという間に過ぎていきました。レッスンは、さまざまな学習要素を取り入れた、子どもたちを飽きさせない英語習得の時間の魔法の使い方でした。

レッスンを受けた子どもたちの感想：

「分かりやすいせつめいで、よくりかいできたので、よかったです。」「知らない単語がありました、分かりやすくせつめいしてくれたので、その単語をしっかりと覚えられました。」「まちがえてもやさしく何回も教えてくれて、せつめいがすごく分かりやすく、上手にできるとほめてもらったので、うれしかったです。」「英語は苦手だったけれど、ずっと習ってやっていたら、分かるようになりました。」「私は英語が嫌いだったけれど、キリオ先生のおかげで外国語を楽しめるようになりました。分からないところも分かりやすく説明をしてくれて、ありがとうございました。」「いろいろなゲームや、質問の書き方がありおどろきました。まだ簡単に書けるわけではありませんが、前よりはちゃんと書けるようになったと思います。知らない単語もあり、少しむずかしかったです。』

保護者の感想：

「学校の英語の授業は、よく分からない、苦手という意識がありました。この講座も初めは、恥ずかしいと言っていたのですが、少しずつ慣れてきたようで、家で習った単語を発音したり『これってこんな意味やねんて!』と教えてくれたり、英語に対する気持ちが変わってきたのかなと感じています。ありがとうございました。』

「苦手意識のあった英語を自ら話すようになり、英語を身近に感じるようになったようです。楽しく学習ができたと言っていました。ありがとうございました。』



「オ～ラ!コロナに負けず、今年もスペイン語講座は盛り上がりました!」

スペイン語講座
アシスタント 田中 啓司

宇治市国際親善協会主催の語学講座「初歩のスペイン語」の第 5 回。今年はコロナ対策で定員縮小の案もありましたが申し込みが多く、ソーシャルディスタンスの取れる広い教室で予定通りの開催となりました。受講生は例年と同様に、この講座で初めてスペイン語に触れるという人から以前勉強していたけどもう一度という人まで幅広く、10 代から 70 代までの老若男女。参加の動機も多様です。言葉の響きに魅せられて全く初めてのスペイン語だけどアルファベットから挑戦したい、世界遺産マチュピチュに行きたいのでその準備に、南米からの留学生の世話の仕事をしているので彼らの言葉で会話してあげたい、英語は出来るが南米の友人とスペイン語で交流を深めたい、

本場スペインでフラメンコを学びたいから、国際結婚の経験からいろんな文化・言語を学びたい、メキシコでは町内対抗リングで盛り上がる程のプロレスの観戦をスペイン語を理解して楽しみたい、などなど。英語は学校で学べるけど同時並行でスペイン語も知りたいから、と中学生のハッスル君も。

11月・12月の水曜日で計った8回の講座、スペイン語ってどんな？と覗いてみる初歩の入門講座、だけど日本社会とは違う歴史の中で作られてきた異文化の言葉にみんなと一緒に触れてみて、共感したり驚いたり。外国語の学習は意思疎通の単なるツールでなく、その言葉と知り合いになれること、その言語を話し異なる文化や習慣や考え方の人たちとお互いに理解しあい友達になっていくこと、自国語だけの生活から自分自身の世界をもっと広げて行くことにもつながっていきます。

そんな興味深い扉を開くきっかけを、このたった8回の講座で作りたいという大それた想いを抱いて、ペルー人講師と二人の日本人による講師陣はプログラムを考え毎回の資料を準備しました。テキストは初心者用に簡単で分かりやすいものを使いながらも、ラテン語系であるスペイン語の単語の由来や、ゲルマン語系・アングロサクソンの英語との違いの話、800年もイスラムの国であったことでたくさんのアラビア語由来の言葉があるスペイン語の特殊性、ラテンアメリカのスペイン語の話など、時には大いに脱線もしました。いろんな話を差し挟んだので初心者には混同してしまうとの指摘ももらいました。人によって興味のポイントは様々でありマイペースで理解していくことが大切です。そんなことも考え併せて受講生の参加動機も練習例文に組み込み会話練習に使いました。とはいえ、ゆっくり練習する時間は望むべくもないため超基礎的な構造の解説・学習に絞らざるを得ません。ですが、受講生の皆さんからは質問も多く、時には珍案勉強法も飛び出したりで授業は楽しく進みました。

終了後寄せられた感想では、「解説は丁寧でネイティブ対話の練習も出来てよかった」と概ね好評でした。「もっと講座の時間が欲しかった」とも。これを契機にスペイン語を続けられたら muy bien (とても良い) ですね。スペイン語でなくとも他の言語・文化に興味を広げて行くことにつながれば、それも意味あることです。開催時期については「年末は多忙なのでもう少し前倒しを」と要望がありました。

最終日のゲストは講師 Herrera Luis さんの長女 Aira ちゃん、そして講師 Sumie さんの夫でコロンビアコーヒーの専門家・宇治橋通り商店街 “Amatista” の Luis Toro さんは、特別に教室の中でコーヒーを全員に淹れてくれました。その香りに包まれて、スペイン語で書かれた修了証書を手に今年の講座にお別れです。¡No te contagies de COVID-19 hasta nunca! ¡Nos vemos pronto! Vamos a comunicar en español! Chao! (新型コロナに絶対かからないで！また会おうね！スペイン語でやろうね！では、さようなら！) Muchas gracias.



宇治市国際親善協会は、今年度も宇治国際交流クラブと共催で「宇治まなびんぐフェスタ」に出展いたします。

「宇治まなびんぐフェスタ 2021」

開催日時：2021年2月14日(日) 13:00～16:00

会場：宇治市生涯学習センター 第2ホール



今年度の出展内容は「コロンビアコーヒーをとおして、世界のフェアトレードについて学ぶ」、「ペルーの舞踏マリネラ」のパネル展示、バルト3国の一つで最も美しい国と言われている「ラトビアについて知る」のワークショップを開催します。

コロンビアのコーナーは、宇治橋通りのコーヒー豆店「アマティスタ」のルイスさんからのフェアトレードについての資料展示と美味しいコーヒーの淹れ方の実演を、ペルーの舞踏マリネラ紹介パネルは、協会主催のスペイン語講座講師のホル

へ＝ルイスさんのLCK（文化でつながるKYOTO）の資料を展示・説明、ラトビアについては、今年度の協会主催の子ども英会話講座講師のジェリギン＝キリオさんが紹介してくれます。

「宇治まなびんぐ」は市民まなびの集いとして、日常取り組んでいる生涯学習活動を子どもから大人まで多くの人に向けて発表し、出展者・来場者の交流の輪を広げていただく場として開催されています。上記の内容で実施予定ですので、みなさんふるってご参加ください。

尚、「宇治まなびんぐフェスタ 2021」は2月13日（土）・14日（日）の両日開催です。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止もしくは延期されることがあります。

うじしこくさいしんぜんきょうかいにほんごきょうしつ さんかしゃほしゅう 宇治市国際親善協会日本語教室 **参加者募集**

Shall we study Japanese with us at the Japanese Class by Uji International Friendship Association?

この教室では日本語がほとんどわからない外国人のみなさんに会話や文字を教えます。
今年度からの宇治市国際親善協会の新規事業であるこの教室は日本語を学びたいと思っている外国人の人に日本語の学習支援を行うものです。

This new project by Uji International Friendship Association is for whom want to learn Japanese. You can learn Japanese letters and conversation with us.

日時：毎週土曜日 14：00～15：30

Date & Time: Every Saturday 14:00 - 15:30

場所：宇治市総合福祉会館（宇治市役所のとなり） 住所：宇治市宇治琵琶 45

Place: Uji-shi Sougou Fukushi Kaikan Address: 45, Biwa, Uji, Uji-city (Next to the Uji City Hall)

申込み：申込みが必要です。

Application: Application is required.

①名前、②住所、③電話番号、④母国語、⑤日本語のレベルをお知らせください。

Please inform us of 1.Name 2.Address 3.Tel. 4.Your native language 5. Level of your Japanese language skill

会費：¥2,000.-/年

Membership fee: ¥2,000.- per year

Tel. 0774-20-8701 / 090-1711-0348 / 090-1154-1333

Organized by: UJI INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION



雑観雑感

平成 26 年（2014 年）6 月、宇治市・カムループス市公式訪問団（総勢 17 名）が成田空港を出国し空路約 9 時間を経てカナダ バンクーバーに降り立ったのは朝の 10 時頃であった。市内観光後、約 1 時間の空路にて目的地であるカムループスに到着した。翌 7 月 1 日はカナダ・デーであり本来の姉妹都市の交流を深めるための一環としてリバーサイド・パークにおいて公式式典が挙行され山本市長、ミロバー市長（カムループス市）の交換挨拶があった。宇治市からの一行が式典参加のため来訪した旨の紹介があり、満場の人たちから大きな拍手を受けたのは記憶に新しい。現地の人々は非常に親切・丁寧で、事あるごとに話しかけてくれた。極力「ゆっくり・大きい声で」話していただくようお願いし、市民訪問団にわかる範囲の英語の単語を並べ、若しくは身振り手振りで意思疎通をしていただいた。概ねお互いに理解し得るところがあったようだ。特にカムループス日系カナダ人協会(KJCA)主催の晩餐会の現地出席者の皆さんは、片言の日本語ではあったが日本の文化に極めて興味を持っておられた。コロナ禍での行動範囲が狭められている現状だが、引き続きお互いの文化・経済・教育・スポーツの親交を期待したい。(K・N)